

避難者数の想定や間仕切りの配備は十分か

平良木議員の一般質問

指定避難所の受入人数は

平良木議員はまず、災害時の指定避難所について、各避難所の避難者数や備蓄品の必要量の想定、初動対応職員の配置についてただしました。

市長は、「2016年度に行った防災アセスメント調査に基づき、避難者数は人口の10.6%と想定し、当市の人口の11.2%に当たる約2万1千人の避難者の受入れが可能となっている。また、この想定避難者数から食料品や毛布などの必要数を算定し、各避難所に分散配備している。一部の物品は、市内16か所の施設に集中備蓄しており、各避難所で不足する場合は、『物資調達・輸送班』が避難所へ運ぶこととしている」と答えました。

平良木議員は、東日本大震災での仙台市の避難の実態を紹介し、「地域によっては人口の16%の市民が避難したという。また、コロナ対策で避難所の1人当たり面積の想定も広がり、避難所によっては入りきれなくなる場合もあるのではないか」とただしました。

市長は、「そうしたことも考えられるが、避難所運営マニュアルでは、必要に応じて近隣の公共施設も弾力的に避難所として活用を図るとしている」と答えました。

市長は、「そうしたことも考えられるが、避難所運営マニュアルでは、必要に応じて近隣の公共施設も弾力的に避難所として活用を図るとしている」と答えました。



間仕切りの配備は

次に平良木議員は、避難所における間仕切りの備蓄が少ない点をただしました。

市長は、「間仕切りは、保管に広いスペースが必要となるため、間仕切り2個と段ボールベッド4個を1セットとして、各避難所1～2セットを配備しているが、不足した場合には市の集中備蓄から補充し、更に不足する場合は、県の備蓄を迅速に配備できるよう支援体制を整えている」と答えました。

平良木議員は、「災害時にはその運搬・移送ができなくなる例が多く、仙台でも支援物資が届いたのは3日後とのこと。はじめから十分な数量を備蓄すべきだ」と指摘しました。

大雪対策の総括は数値でも検証を

橋爪議員の一般質問

橋爪議員はまず、今年の大雪対策の総括をいつ公表するのかわかりました。

市長は、「今年の大雪対策の検証は、全庁挙げて作業を進めており、7月上旬に中間報告をまとめ、その後、10月下旬に最終報告書を示す」と答えました。

橋爪議員は重ねて、「どういう形であれ、きちんとしたまとめが必要。総括の視点の基本は何か。また、県の雪対策は非常に具体的で、基準・数値目標を設けている。市でも検討すべきと思うがどうか」とただしました。市側は、「1週間近く生活道路があかかった。農業被害や鉄道もあつた。市民目線で市民生活を守るため、再度の場合繰り返さないためにまとめたい。今後どう備えるかを踏まえてまとめたい。行政マンの矜持を守ってまとめたい。指標を出すにも状況によって違う。刻々

公民館整備計画が途中でなくなった経緯は？

大雪対策の総括は

と変わる状況の中で特徴を見つけて出し、対策を出していく。その視点で行っている」と答えました。

公民館の整備計画は

橋爪議員は次に、平成23年策定の公民館施設整備計画が期間の途中でなくなったことについて、理由と経緯をただしました。

教育長は、「当該計画は、既存施設を維持する場合に必要な工事内容や概算事業費を優先順にリスト化したものである。一方、実際の事業実施では、不経済な事業執行にならないよう、施設配置の方向性を考えながら進める必要があった。そのため、実際に実施する事業は整備計画の優先順どおりとはならず、公開の継続による混乱を回避する趣旨で、平成27年4月にホームページでの公開を中止した。しかし、計画がなくなったわけではない」と答えました。

の意思表示になる。教育委員会で手続きはどうなっているのか」とただしました。

教育委員会は、「手続き的に適正かどうかは疑問もある。今後は新しい財政計画の元で行う。ただし、公の施設適正配置計画が優先であり、そこで廃止になったものは改修しない。しっかりと精査して再検討したい」と答えました。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.713 2021年7月4日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況

(6月25日現在)

PCR検査実施件数 11,935件(前週+253)
 管内陽性件数 142件(前週と同じ)
 上越市内陽性件数 123件(前週と同じ)
 陽性率 1.19%(前週1.21%)